

にほんじん ふしぎ しょくせいかつ
日本人の不思議な食生活

尹翠

(イン スイ)

出身地：中国

はじめまして、私は中国から来た尹翠と申します。初めて日本に来た時、日本人の食生活は外国人の私から見て、とても不思議だと思いました。私は日本人の食生活に驚いたことは三つあります。今から順に話してみます。

最初の不思議と驚きは日本人がラーメンを食べるとき音を出すことです。電車に乗るとき、日本人はホームではみな、小学生のようにきちんと列を作って並び、車内では混んでいてもできるだけ人に当たらないよう配慮しています。いつでも「すみません」と言うので、もし当たられても睨みつけることはありません。とにかく車内は静かです。いつでも礼儀正しい日本人はなぜラーメンを食べるとき音を出して「すみません」って言わないのでしょうか？とても不思議だと思いました。

二つ目は何でも生で食べることです。レバ刺し、牛刺し、明太子やいくら、などなど、肉も魚も生で食べます。どうして生ものを食べるようになったのでしょうか？日本人は食べ物に神経質なので、生ものを食べる文化は発祥しそうにないのに、とても不思議だと思います。そのため、日本人は刺し身や生野菜など冷たい物を食べて育ったので冷静な性格、中国人は熱い食べ物で育ったので感情激しいだと考えられるでしょう！

三つ目の不思議と驚きは、ご飯の上に何故、熱いお茶をかけて混ぜるんですか？私が見たら、ご飯の上に飲みものをこぼしたというハプニングにしか見えません。食べてもおいしくないと思います。北海道出身の友達に聞いたら、北海道は寒いので、お弁当のご飯が凍っちゃって、そこにご飯をほぐすために熱いお茶をかけて食べたのがお茶漬けの始まりだったそうです。

私は大学で栄養学を勉強してから、ずっと思っていた日本人の不思議な食生活を理解できるようになりました。日本人はラーメンを食べるときの音はおいしいという気持ちを表す表現です。人類が火を使う前には全員が生で食べていたわけですから、日本人は生で食べるようになったのではなく、火を通さずに食べる方法が「残った」だけじゃないのでしょうか。日本は海が近く、魚を洗うのに使う水も加熱せずに飲めるので、生食する文化が残りやすかったのだと思います。

私が自分の目で見た日本、心で感じた日本は、先進的な科学技術を持つ近代化した経済大国なことではなく、日本人の食習慣にあります。日本人が毎日普通に食べている料理は留学生の私にとって、ただお腹を満たすだけの目的ではなく、時には目と心でも同時に味わうように料理されていて、日本の文化を体全体で感じるすることができます。日本での生活は、日本と中国の共通点と相違点は身をもって感じるいい機会となります。とてもよかったです。

ご清聴ありがとうございました